

# Fitness Industry Association

## NEWS



発行:(一社)日本フィットネス産業協会  
TEL.03-5207-6107  
FAX.03-5207-6108  
E-mail.info@fia.or.jp  
http://www.fia.or.jp

### Topics

### トピックス

## FIA賀詞交歓会開催

2017年1月19日(木)、弘済会館にて、毎年恒例のFIA賀詞交歓会が開催された。当日はFIA正会員、賛助会員に属する200名を超える人々が集い、FIA会長の株式会社ルネサンス吉田正昭氏の挨拶から始まった。乾杯後は、皆が笑顔で近況について報告し合う姿など、思い思いに交流を図っていた



吉田正昭氏

会の冒頭、挨拶に立った吉田氏は、フィットネス業界の現状そして未来について期待を込めて次のように力強く語った。「長く3%であったフィットネス参加率ですが、カーブスの躍進などで運動をするご高齢の方も増え、間違いなく上向いてきていると思います。さらに、これからは東京オリンピック・パラリンピックが控えており、スポーツに対する機運はますます盛り上がっていくことでしょう。我々のビジネスは、人を健康にすることで、会社も成長していくという好循環をもたらす稀有な

証するため、昨年より取り組みを開始したことを報告した。「健康ではない人」として、ヘモグロビンA1cの値が6.5かつ薬を飲んでいない方を800名ほど集めたのだという。この数値は一般的に6.5を超えると糖尿病と診断される。しかし、数値が7に達するまでほとんど自覚症状が現れないことから本人は「自分は健康だ」と思っているうちに、ある日突然倒れ、長い闘病生活が始まるというパターンが多かった。

今回の実験では、対象者に日々体重・血圧を測ること、そして簡単な運動を意識してもらっただけで、12kg痩せた者もいたという。これからも引き続き検証を続けていくと江崎氏は語っていた。

「この検証結果をもとに、運動をすることの大切さがより明確になると思います。皆さまが行っている事業は、この日本が沈むかそうでないかにも関わるとても重要なものです。しかし、今までのようにもともと健康意識の高い方ばかりが集まる場であるのは非常にもったいないことです。運動だけでなく、栄養やメンタルに関するものなどサービスの幅を広げて健康意識の低い方、ご高齢で運動ができない方にも対象を広げていただければ、さらに発展していくことは間違いないと思います」

江崎氏は、今需要が高まっているウェアラブル機器についても述べ、「どのメーカーも自分のところの数値は正確だというため、自らをもって実証するしかない」と、複数の機器を装着した腕を見せ、会場を笑わせていた。さらに同氏は「今年の父の日には、娘さんからお父さんにフィットネスクラブの3ヶ月間利用チケットなどをプレゼントし、『格好よくなったらデートしようね』などというメッセージを添えるのはいいと思いませんか? 人は目標があればがんばるものです。そういうアイデアをぜひビジネスにつなげてもらえたらと思います」と語り、挨拶を終えた。



江崎禎英氏

ものです。互いに切磋琢磨してレベルを高め、しっかりと世の中に認められる団体、事業としていきましょう」

続いて挨拶に立ったのは、経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課長江崎禎英氏。

「将来、認知症の方は700万人にまで増えるといわれています。この試算が正しいとすれば、消費税は25%まで上げる必要があります。しかし、かつて10%に上げようとしたときにあれだけ議論が巻き起こったのに、25%にすることは現実的ではないでしょう。では、どうすればいいのか。認知症、また生活習慣病にならないようにすればいいのです」

先日、ある大学教授の「多くの予防医療に医療費抑制効果はない」という主旨の記事が新聞に掲載されたことがあったが、江崎氏はこれに対して「今までの予防法はもともと健康意識の高い、健康な人ばかりを対象に行われていたのでその効果の測りようがなかった」と述べ、きちんと効果を検



井上 仁氏

3人目に登壇したのは、スポーツ庁健康スポーツ課課長井上仁氏。設立当時話題となったスポーツ庁も、発足から約1年が経過。これまでの動きについて述べた。

「我々は、運動・スポーツをしていた人を増やしたいという思いで努力をしているのですが、まだ競技スポーツや国際競技力の向上のほうに前面に出ています。もう少し『健康のためにスポーツをやる』という、より人々にとって身近な取り組みを行っていきたくて考えています。スポーツ庁も1年経ち、『～スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life～』という理念のもと努力しています。これからも、スポーツを通じて社会を変えていこうという機運を高めていきたいと考えています」

現在、第2期のスポーツ基本計画の策定が、次の4つの柱をもとに審議されているという。①スポーツで「人生」が変わ

高いが良いもの、また質の高い、「プレミアム」なサービスを提供することを勧めている。目黒氏は、この取り組みの意図を次のように述べた。

「昨今、サービス・モノの消費において“安くていいのが当たり前”という流れが一般的になりつつあり、その結果、デフレから脱却できないことが日本経済停滞の一因ともいわれています。今回の取り組みはその流れを止め、『よいものを、それに見合った価値(価格)で提供する』ことを目的としています。そうすることで、消費者に『高いものはやはりいいんだ』ということに気づいていただきたいと考えています。サービス提供側からすると、楽しい取り組みとはいえないかもしれませんが、売り上げを高めていただく機会と考え、取り組んでいきたいと思っています」

なお、プレミアムフライデーのロゴマークは、専用のホームページより使用申請を行うことで自由に使うことができるため、取り組みに賛同する企業は申請してはいかがだろうか。



る、②スポーツで「社会」を変える、③スポーツで「世界」とつながる、④スポーツで「未来」を創る。これを目標に、スポーツ庁では取り組んでいくという。井上氏は「これを実現するために、皆さまの事業はととても重要な位置を占めます。これからもお互いに協力し合っていけたらと思います」



目黒 浩氏

その後、経済産業省商務情報政策局流通政策課長補佐目黒浩氏が、2月24日より本格始動となる「プレミアムフライデー」について紹介を行った。これは、毎月末の金曜日、仕事を少し早めに切り上げて、スポーツや買い物を楽しもうという、少し豊かな(プレミアムな)時間の使い方を推奨する取り組み。アメリカの感謝祭翌日の金曜日に行われる大規模セール「ブラックフライデー」を参考にしたそうだが、日本版の主旨はむしろ間逆だ。サービス提供側にはいつもより少し

## Board Meeting

## 理事会報告

FIAは第180回理事会を平成29年1月19日(木)弘済会館(千代田区)で開催し理事・監事19名が出席した。

### (1)理事交代の件(審議)

事務局より、塩野 紀子理事(副会長・(株)コナミスポーツクラブ)より後任理事を同社代表取締役社長 落合 昭 様としたい旨申し出があったことが説明され、審議の結果以下2点を承認した。

#### 審議・承認事項

- ①次回総会(本年6月16日予定)において落合 昭 様を理事候補とする議案を提出すること。
- ②その任期は平成30年6月予定の総会までとすること。

### (2)検定事業の件

検定委員会委員長の進行により検定事業準備状況について、担当理事・事務局からの報告及び審議を行った。

### 1. テキスト編集委員会の進捗(報告)

執筆作業がほぼ終了した各級学習テキストの目次・執筆者を紹介、年度末刊行を目的に編集作業中であることが報告された。1級192ページ、2級180ページ、3級129ページに一部追加原稿を含むボリュームとなる。

### 2. 厚労省申請手続きの進捗(報告)

本制度を「国家検定試験」とする為の厚労省への申請作業状況について報告した。

- ①必要書類すべての提出を終え厚労省によるチェック・指導を受けている段階。
- ②6-7月頃の認定～7～9月頃の広報～10-11月頃の試験実施 との見込みである。



### 3. 事業計画の精緻化を図るための試算および理事企業ヒアリングについて。(報告)

試験実施の損益試算と必要受験者数算出を行ったこと。理事企業へのヒアリングを行ったこと。について内容の報告と情報の共有を行った。

- ①試験費用損益分岐試算では、費用のかかる1級の損失カバーを含め、2級248名 3級1,912名の受験者数確保を要する。
- ②検定制度活用ヒアリングでは、任用資格要件に近いものから自主まで幅広いが、学習奨励・受験奨励とする企業が多い。また受験者に対し受験費用、学習費用など何らかの補助を検討する企業も過半であった。

#### (審議)

- ・エントリーシートに検定試験について記載することの申し合せ。
- ・企業ヒアリングを通じて、採用時のエントリーシートに検定試験に関する記載欄を設けることについて概ね賛意が得られたことから、次の2点を申し合わせとすることにつき審議した。

I 理事企業は自社のエントリーシートに検定試験に関する記入欄を一致して設ける。

II すべての加盟企業にも同様の記入欄設置を呼び掛ける。

※時期:平成30年度採用分の様式より設置

※内容:〇〇技能検定試験を知っている・〇〇技能検定試験を受験した・〇級技能士に合格している など。

### ⑥関係業務の決定プロセス

関連業務の決着までの仕組みについて、事務局案に基づいて今後検討をスタートすること。

### (3)入退会申請審議

1. 賛助会員より提出の退会届を審議し承認した。  
会社名:ディービーエーネットワーク 株式会社(賛助会員)  
所在地:東京都中央区  
理由:会社都合により。  
入会:平成28年1月  
商材:広告・商品組み合わせ提案型の卸販売。健康食品、食品、雑貨販売。

### (4)後援名義使用申請審議

2件の後援名義使用許可申請を審議の結果、いずれも承認された。

1. NPO法人健康づくり推進機構BTB  
主催:(NPO)健康づくり推進機構BTB  
催事名:健康チャリティイベント「命は宝」  
会期:2017年3月18日(土)  
会場:神戸市生涯学習支援センター(コムスタこうべ)  
対象者:一般  
内容:運動指導者による健康プログラム・心と体の癒しプログラム紹介など。  
※ 例年後援。名義の使用のみ。
2. 株式会社UBMメディア  
主催:株式会社UBMメディア  
運営:同上  
催事名:ダイエット&ビューティーフェア2017  
スパ&ウェルネスジャパン2017

審議過程での意見。

1. 「受検した」欄を設けると不合格者の記載忌避が考えられ、「〇級に合格した」「1年以内に受験予定」等で良いのではないか。
2. シートのどの欄に設けるか。資格要件か加点要因かで露出の仕方が異なる。
3. 中途採用フォームにも設けたい。
4. シートだけでなく会社説明会でも触れた方が良く、統一した説明ひな型を事務局で考えてほしい。
5. 平成31年度採用分からとなるのではないか。審議の結果(1)(2)共に了承され、次回理事会に具体案を提出することとした。

### 4. 今後の組織づくりについて(審議)

今後の事業推進を円滑に行うための措置について会長より①~③が、専務理事より④~⑥が説明され、審議の結果いずれも了承された。

- ①検定事業を所管する副会長を置くこと。
- ②所管副会長のもとに「検定試験事業マネージャー」を置くこと。
- ③所管副会長のもとに「学習支援事業マネージャー」を置くこと。(厚労省より、学習支援事業は試験事業と分離するよう指示あり)
- ④マネージャーの選定作業は、会長・副会長・検定委員長・専務理事によって行い、3月16日理事会への報告を目途とすること。
- ⑤学習支援事業もFIA内事業として準備を進行すること。(FIAの外での法人化も検討したが現実的でなく、検定委員会議論の結果として)

期間:2017年9月11日(月)~13日(水)

会場:東京ビッグサイト

内容:毎年開催のヘルス&ビューティー分野の総合展。

※ 2009年 FIA後援開始。

FIAは同催事の核となる「エステティック」「スパ」両業界団体(6団体)並びにヘルスケア産業課と、「美・癒・健3分野情報交換会」に参加。例年後援。名義の使用のみ。

### (5)各委員会の活動状況(審議・報告)

#### ＝社会・渉外委員会＝

#### (1)「プレミアムフライデー」参加依頼の件

スポーツ庁からの要請。実施推進は経産省流通経済課。プレミアムフライデーの定着を図るべく協力要請を受けたことを説明した。

クラブでプレミアムフライデー向け料金を設定し、スポーツに関心の無い層への遡及環境とする。月末金曜日に「プレミアムフライデー」と名打つ特別プログラムを設定する。など何らかの活用を検討いただきたい。など。理事会後開催の賀詞交歓会では流通経済課による説明を予定。討議過程で出た意見。①月1回の催事では一般への遡及が難しい。②高付加価値サービス提供の理念と割引推奨は合致しないのではないかと。③金曜日定休クラブも多い。など。討議の結果、理事企業において検討中の内容が固まり次第共有を図ることとした。

※事務局注:プレミアムフライデーに関する広報はFIAホームページに掲載しています。<http://www.fia.or.jp/>

(2) FIA加盟クラブ提供サービスにおける品質保証について  
FIA加盟クラブ(企業)の信頼性・有効性を担保する品質保証への取り組み提案(11月理事会)を受けた12月執行理事会審議が報告され討議を行った。

(ポイント)

- ・提供されるサービス(主に安全性と効果性に対する配慮)の質の保証
- ・FIAのブランディング
- ・FIA加盟クラブ証の復活に連動するか。
- ・マネジメント検定事業との連動が考えられる。

(課題)

- ・保障となると、具体的に何を保証するか?ということになるので、取組みへのハードルが高くなるのが予測される。
  - ・一方では、あまり複雑ではなく、わかりやすいかたちでの具現化の検証も必要。
- 討議の過程で出た意見。顧客から見ればベーシックな事項、※急な施設閉鎖をしない  
※運営企業の信頼を提示する。などでも大切。

討議の結果、社会渉外委員会マターとして継続検討。事務局にてふさわしい項目のヒアリングなどを行い、素案を検討することとした。

**=事業委員会=**

事務局より各項について結果・途中経過につき報告を行った。

**(1)スポーツクラブ駅伝2016**

大阪大会 11月26日(土)長居第2陸上競技場

(一社)日本フィットネス産業協会 事務局

③14:50~16:50

これからのフィットネスを基軸としたヘルスケアサービス展開を担う人材の育成

(パネリスト)

石田 昌彦氏:(株)オーゼスポーツ フィットネス事業部長  
川島 浩一氏:(株)東急スポーツオアシス 執行役員 営業本部営業第1部

水原 一鵬氏:(株)ティップネス 都心店営業部長

④17:15~19:00 FIA会員情報交換会

会場:ベイコム総合体育館1階 レストラン『グローブテラス』

**=調査研究委員会=**

事務局より調査実施の準備状況について報告した。

《調査研究タイトル》

「定年を迎えた60才以上もしくは実質リタイアした65才以上のシニア男性のフィットネスクラブへの参加要因を探る」

《調査対象及びポイント》

定年を迎えた60才以上or実質リタイアした65才以上のシニア男性を対象に下記の事項をリサーチする。

- ・健康に対する意識
- ・日常生活の実態
- ・フィットネスクラブに対するイメージ
- ・フィットネスクラブへの入会意向、阻害要因

《調査の進め方》

三通りの方法でデータを収集し、分析を進める。

- ①過去2回の収集データの中から、今回調査に関連する質問項目を取り出し、テキストマイニング的手法も含めて分析。

参加者状況 148チーム 927名(前年比 チーム数:-19/参加者数:-62名)

**(2)FIAマスターズスイミング**

FIAマスターズスイミング選手権大会2017

2017年3月4日(土) 5日(日)

(一社)マスターズ水泳協会 公認番号17-016

1月12日募集締め切り。エントリー数2,164名

<イベント実施>

1日目:三田 真希氏(ルネサンス)・渡邊 一樹氏(セントラル)・福田 智代氏(コナミ)ご協力による模範泳法・練習法など。

2日目:星 奈津美氏 模範泳法・練習法・トークショーなど。

(ミズノご協力)

**(3)FIAクラブマネジメントセミナーin関西 ●現在集客中!!**

開催日:平成29年2月24日(金)

会場:ベイコム総合体育館(兵庫県尼崎市)

①10:30~12:30 (120分)

「フィットネスクラブの価値が正しく生活者に伝わるようにするための現状課題確認と今後のあるべき取り組みについての提案」

(パネリスト)

松岡 宏高氏:早稲田大学スポーツ科学学術院 教授

古屋 武範氏:(株)クラブビジネスジャパン代表取締役社

(進行)松村 剛 (一社)日本フィットネス産業協会

②13:15~14:00

フィットネスクラブマネジメント技能検定(仮称)実施についての説明

②特定の意識や実態、イメージなどを抽出するためのグループインタビューによる分析。

③過去2回の調査研究報告の中から、今回調査に活かせるデータを抽出し、①とは別途での分析を早稲田大学にて推進。

以上①、②、③の分析結果及び、それに対する各委員からのコメントを“事業者からのコメント”として付加、冊子に反映させる。

《スケジュール》

・2017年12月までに、冊子化して頒布をする。

【女性活躍プロジェクト委員会】

事務局より「女子スタッフのキャリア形成・産休明け就業のあり方」ヒアリング

会員企業アンケートの作成を急ぐことを説明した。

**=組織基盤拡充委員会=**地方協議会等との連携。(報告)

事務局より各地域協議会等との連携状況について報告を行った。

(1)みちのくフィットネスクラブ協会

10月29日(土)

①同協会理事会に出席した。

②同協会主催「フィットネスを目指す学生・生徒に対するセミナー」にてフィットネス界の状況と仕事の魅力について説明した。

(2)北海道スポーツクラブ連絡会

(予定)2月18日(土)同連絡会の総会に出席すると共に、セミナー講師としての要請があり実施する。

「フィットネス・スポーツクラブが顧客定着のために今一度見直すべきサービス提供を考える」90分

## Information

## お知らせ

## 1. 第1回ライフスタイルビジョンForシニア展について

標記展示会は毎年幕張メッセで行われている「JAPANドラッグストアショー」に本年第1回として併催するシニア世代向け積極的健康ライフ提案の場です。

FIAはこの展示会を後援しています。

※ドラッグストアショー: 本年17回目。3日間来場13万人中約6万人は一般来場者。

(内訳40歳代34% 50歳代18% 60歳以上14.4%)

展示会事務局より加盟企業へ入場券などの案内が郵送されますのでご利用ください。

来場者への販売活動が可能な出展ブース(1コマ3m×3m・関係者価格30万円)を

申込可能です。FIA事務局へご照会ください。

展示会ホームページ <http://drugstoreshow2017.jp/>

開催期間: 3月17日(金)~19日(日)

## 2. FIA マスターズスイミング選手権大会 2017

2017年3月4日(土) 5日(日)

会場: 千葉県国際総合水泳場

1月12日に募集を締め切り2,164名の参加申し込みがありました。

募集・運営にご協力のスタッフの皆さんに御礼申し上げます。水泳界をリードしてきた選手のご協力を得てイベントを実施します。

1日目: 三田 真希氏(ルネサンス)・渡邊 一樹氏(セントラル)・福田 智代氏(コナミ) による模範泳法・練習法など。

2日目: 星 奈津美氏(ミズノ)による模範泳法・練習法・トークショーなど。

## 3. 「受動喫煙のない社会の実現を！」意見表明に参加

FIAは「健康日本21推進全国連絡協議会」に加盟しています。

この度協議会151団体のうち113団体が賛同して受動喫煙のない社会の実現をめざす共同意見表明を行いました。

意見表明「受動喫煙のない社会の実現を！」

受動喫煙が健康に悪影響を及ぼすことは、科学的に明らかであり、心筋梗塞や脳卒中、肺がんに加え、子どもの喘息や乳幼児突然死症候群等のリスクを高めることがわかっています。その結果、受動喫煙が原因で年間1万5千人が死亡していると推定されています。

2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」を健康に関するレガシーの一つとするためにも、私達は、平成28年10月に厚生労働省が公表した「受動喫煙防止対策の強化について(たたき台)」を全面的に支持するとともにさらに「屋内の完全禁煙」を目指して法整備を進めることを要望します。

これは、全ての国民の『健康が第一』のもと、明るい日本の未来『健康長寿社会』の実現に必ずや繋がるものと考えております。

平成29年1月10日

健康日本21推進全国連絡協議会

賛同有志団体一同(113団体)



健康日本21

## New Clubs

## 出店情報

## 2月のオープンクラブ

## SPOPLA NEXT

所在地: 茨城県水戸市千波町2292

TEL: 029-305-3355

## ホリデイスポーツクラブ 西一之江

所在地: 東京都江戸川区西一之江1-17-11

TEL: 03-5663-2233

## エニタイムフィットネス板橋仲宿店

所在地: 東京都板橋区仲宿44-5

TEL: 03-5944-1361

## エニタイムフィットネス久が原店

所在地: 大田区南久が原2-1-22 1F-B1

TEL: 03-6410-3061

## エニタイムフィットネス阪急茨木市駅店

所在地: 大阪府茨木市別院町2-20 2F

TEL: 072-646-7557

## エニタイムフィットネス関目成育店

所在地: 大阪府大阪市城東区成育2丁目5-16

TEL: 06-6167-8671(随時受付: 関目店)

## エニタイムフィットネス金山店

所在地: 愛知県名古屋市中区金山2-14-9

ルミエール金山1F

TEL: 052-684-5646

## Issue

## 記事

## IoT眼鏡、業界巻き込む「JINS MEME」——教育・健康・転職分野など企業発掘、発売前に開発公表

ジェイアイエヌが2015年11月に発売した眼鏡「JINS MEME(ジンズ・ミーム)」は今も多くの企業が注目している。センサーで目の動きをつかみ、各種アプリと連動して様々なデータを分析できる。

転職サービス「DODA」を手掛けるインテリジェンスでは、16年春から、MEMEで集めたデータを企業と求職者のマッチングに生かす「Life Interview」に取り組んでいる。

オフィスワーカーと大学生にMEMEと専用スマホアプリを提供する。アプリに「〇時から〇時まで授業に出席」「×時から2時間パソコンで仕事」といった行動データを入力してもらおう。限られた面接時間で求職者の日々の働き方や生活まで把握するのは難しい。MEMEで集めた集中度や落ち着きのほか、姿勢などのデータを重ねて分析し、行動との関係を探る。

プロジェクトではヤフーやディー・エヌ・エーなどの4つの企業と多摩美術大学など3大学の協力を得ている。担当するキャリアディビジョンマーケティング企画統括部DODA編集部広告宣伝グループの森本大氏は「『この学生にはこの企業のワークスタイルが合っているか』などを高精度でマッチングできるようにデータの分析手法を確立していく」と話す。

(2017.1.6 日経産業)



## ソニーとルネサンス、テニス指導にセンサー活用

ソニーとフィットネスクラブ大手のルネサンスは13日、ルネサンスが運営するテニス教室で、ソニーのセンサーをラケットに装着して、打ったボールの速さや打点を解析するサービスを始めると発表した。「スマートテニスレッスン」で4月から全国39施設で順次取り入れる。コーチがデータや映像を分析して課題を指摘して生徒と共有することで、上達に向けた効率的な練習につなげる。

活用するのはソニーが2014年5月に発売した「スマートテニスセンサー」。手のひらサイズのセンサーをラケットに取り付けると、加速度センサーと振動センサーがショット数やスイングの速度、ボールを捉えた位置などを把握する。ボールの回転速度も分かる。

(2017.1.13 日本経済)

## 商社マン、減量競って、伊藤忠、スマホで健康管理

伊藤忠商事は16日から、スマートフォン(スマホ)を活用して社員の健康を管理する。NTTドコモと共同で歩行距離や体重を分析するアプリを開発した。接待や会食が多い商社マンは食事や飲酒が増えがち。「スタイルアッププログラム」と名付けた健康管理の仕組みを導入し、まず34歳以下で、肥満ぎみの若手社員約100人が参加する。期間は3月中旬までの2ヶ月間。導入効果を分析したうえで、2018年以降も毎年、同人数の社員が参加する計画。

(2017.1.16 日経産業)

## パスポート「アリオ西新井店」

### —内装・品ぞろえ、大人仕様に、RIZAP傘下で刷新

雑貨店を運営するパスポートは昨年11月、大型店「パスポート アリオ西新井店」を改装した。昨年フィットネスクラブを展開するRIZAPグループの傘下となったのを機にブランドイメージを刷新し、顧客層を広げていく。RIZAPが販売する健康・美容器具も目立つ場所に置き、グループとしての連携も強めている。豊富な品ぞろえで、学生からOL、高齢者まで広く消費者を取り込む狙いだ。

ただ雑貨店も競争が激しく、デザインや品ぞろえで特徴がないと客足はすぐに鈍くなる。これからはRIZAPの力も借りつつ、スポーツ関連商品など新たな魅力を打ち出せるかが勝負となる。同店の年商は約1億2千万円で、リニューアルにより数%の上積みを目指す。

(2017.1.23 日経MJ)

## 明るい卓球の未来

22日の全日本卓球選手権で男子シングルスの水谷隼が最多優勝記録を更新すると、東京体育館の客席に「V9」と書かれた祝福のボードが一斉に掲げられた。その光景に昨夏のリオデジャネイロ五輪で大活躍した水谷のプレーを、生で楽しみたいと待ち望む人が大勢いたことを実感した。

かつらの製造、販売で知られるスヴェンソングループが首都圏で展開する卓球スクール「TACTIVE」。その事業を担う佐藤司社長は、リオ五輪後は入会希望者に「水谷選手みたいになりたい」という子どもが急増、キャンセル待ちであられる教室もあるという。

(2017.1.27 日本経済)

## イオン、高齢者向けジム参入、タニタと連携し年10店、交流重視へ休憩空間充実

イオンは高齢者向けに小型の簡易フィットネスクラブの多店舗展開を始める。健康機器大手のタニタと組み、同社の健康管理プログラムを活用する。激しい運動より利用者の交流を重視し、店の約半分は飲食や休憩スペースにあてられる。まず首都圏の郊外を中心に年間10店の出店を目指している。フィットネス各社も高齢者向け施設やメニューを充実しており、サービス競争が進む。

「3FIT(スリーフィット)」の店名で店舗網を広げる。標準的な店舗面積はコンビニエンスストアより一回り大きな250~350平方メートル。2016年12月に千葉県柏市に開いた実験店は1階が小型のディスカウント店のビルの2階を利用している。単独で出店するほか、グループの総合スーパーにも開く。

(2017.1.19 日本経済)

## 高齢者らも安心感「メディカルフィットネス」——医学の知見で運動が成果、病院が運営、血圧など改善

医学的な知見を患者それぞれの運動プログラム作成に利用する「メディカルフィットネス」が広がり、生活習慣病の予防などに成果を上げつつある。個人の健康度や体力に合った運動療法を行う施設は全国200ヶ所を超す。高齢者らが集う地域の拠点にと、仲間づくりにも力を入れ継続率を高める取り組みも目立つ。

(2017.1.22 日本経済)

## 練馬区、出張所を福祉施設に、学童・介護予防に活用

東京都練馬区は区役所の出先である「出張所」を3月末に廃止し、主に福祉施設へと機能を転換する。かつて出張所は住民票など証明書の交付を担ってきたが、郵便局やコンビニエンスストアで受け取れるようになり、役割が減ってきた。区有の建物を活用し、高齢者の介護予防や子育て支援といった現実の住民ニーズに対応する。

現在、区内に11ヶ所ある出張所の建物のうち、4ヶ所を介護予防や認知症高齢者の交流拠点となる「街かどケアカフェ」とする。昨年4月にすでに1ヶ所を先行開設した。介護予防では体操などに取り組む。

(2017.1.27 日本経済)

## 中学生、運動部に「自ら」7割

スポーツ庁が全国の国公私立中学校の2年生を対象に今年度実施した運動部活動に関する調査によると、運動部に入った理由について「自分からすすんで」と回答した生徒の割合は、男子が69・8%、女子は65・8%だった。男子、女子ともに2番目に多かった理由は「友達にさそわれたから」でそれぞれ9・9%、11・9%。3番目に多かった理由は男子が「家の人に勧められたから」で8・0%、女子は「家の人や友達が入っていたから」で7・7%と割れた。

運動部に所属する生徒の割合は男子が78・2%、女子は57・7%。文化部は男子が8・2%、女子は32・5%。地域のスポーツクラブへの所属率は男子16・2%、女子9・4%だった。

(2017.1.30 日本経済)